

# 高田高校 SSH 通信

第37号  
新潟県立高田高校  
SSH部  
令和元年12月1日

## 上越サイエンススタディ『雪と氷 WEEK』

10月7日(月)～11日(金)の一週間、1学年の生徒を対象に『雪と氷 WEEK』が設けられました。多目的スペースに雪と氷ブースが設置され、雪室に関する地域の製品や、雪氷学についてまとめたポスター、関連する書籍が展示されました。期間内の理科や社会の授業では雪に関連した特別プログラムを実施し、様々な観点から雪氷学について触れることができました。10月7日(月)には、第35次隊の南極観測越冬隊長を努めた 0B の横山宏太郎様を講師にお招きし、「雪と氷を友として ー南極・ヒマラヤ・妙高一」という演題でお話をいただきました。11日(金)には、遠足で岩の原葡萄園を訪問し、雪室を見学してきました



## 東京研修 & ベトナム研修・ゼミ発表会

2年生が東京研修とベトナムサイエンス研修に行ってきました。10月9日(水)から東京に行った生徒は3日間、ベトナムに行った生徒は5日間の日程で、それぞれの活動を行ってきました。東京研修では、日本を代表する大企業からミッションをいただき、それに答えるべく、自分たちでオリジナルな提案を考え、プレゼンしてきました。ベトナムサイエンス研修では、現地の高校の生徒に日本についてプレゼンし、レクリエーションをして交流を深めました。10月24日(木)にはオーレンプラザで発表会を実施し、これまでの成果を多くの来場者に見ていただきました。



## プレゼミ活動～地域の課題を解決しよう～

11月8日(金)より、1学年普通科では来年度の東京研修にむけて、プレゼミ活動がスタートしました。初回の時間には、上越創造行政研究所の内海 巖 様よりご講演いただいたのち、上越地域の活性化に関わる地元の方々にご来校いただき、興味のあるトピックごとに分かれてお話を伺いました。

2時間目以降からはそれぞれのテーマに分かれ、2月21日の発表会に向けて探究活動を進めています。

### ○トピック一覧○

テーマ	講師
人口減への取り組み	藤村 勝之 様(上越市役所)
商業の活性化	平原 匡 様(北信越地域資源研究所)
外国人労働者の受け入れ	山崎 優樹 様(石倉製麺)
空き家空き地の利用	関 ゆうこ 様(越後高田あわゆき組)
商品ブランディング	丸山 健一郎 様(丸山酒造)